

活動報告

<p>団体名</p>	<p>NPO 法人えひめリソースセンター</p>
<p>活動名</p>	<p>「愛媛災害支援情報共有ネットワーク」 & 「南予チームづくり」のための活動</p>
<p>活動期間</p>	<p>2018年10月～2019年3月</p>
<p>活動の成果</p>	<p>2018年10月～2019年3月のボラサポ・豪雨災害の活動助成を受けて、①「情報共有会議（コア会議、於：松山市）」、②「えひめ豪雨災害・支援情報・共有会議（通称「えひめ会議」、於：大洲市・宇和島市・西予市を巡回）や、市レベルの③「牛鬼会議（宇和島市）」④「西予市会議」の会議出席により多様な災害支援情報を収集・共有するだけでなく、三者連携を促進することができた。また、それらの会議での議論を通じて、⑤「宇和島NPOセンター（仮称）」設立準備会のように新たな中間支援組織基盤の整備を支援することができたり、⑥「西予つながるネットワーク会議」では、これまでつながる機会のなかった地域同士でネットワーク構築に関する議論ができるようになるなどの変化となるきっかけづくりを支援することができた。また、松山市や八幡浜市内において地域における多様な主体が連携して「ふりかえり会」への開催協力を行うことができたことは、支援活動の成果のひとつであり、復興にむけて、確実な歩みを踏み出していることを確認する機会となった。</p> <p>特に、宇和島市が中間支援組織を公設民営で設置していくために、積極的に市民側団体と連携しようとしていることに対し、市民団体側も複数がつながって「コア会議」を結成するなど、積極的かつ迅速な動きがでてきたことに対して、当団体も本活動助成を得て、宇和島市の中間支援組織立上げのモデル・参考となる具体例として、西条市市民活動支援センターの事例紹介、運営方法などを勉強会で共有するなどスピード感を持って支援にあたった。その支援にあたっては、顔が見える関係づくりに配慮するなど、地域のニーズや思いに沿った立ち上げ支援が出来ていると考える。その中から、徐々に大洲市や八幡浜市の支援活動情報の収集なども含めた、南予地域全体を捉えたチームづくりの骨格が見えてきている。</p> <p>また、本活動助成の大きな柱となっている情報共有の部分では、HPの整備・構築への取り組みが挙げられるが、今回、これまで愛媛で経験のない豪雨災害の多様な情報をとりまとめ、整理し、共有・活用できる仕組みづくりを進めることは、次回の災害に備える意味でも非常に重要なものであると考える。</p>
<p>寄付者へのメッセージ</p>	<p>全国の皆さまのご寄付より助成を受けて活動を実施することができました。心より御礼申し上げます。</p> <p>愛媛県南予地域では、平成30年7月豪雨災害で多大な被害を受けました。そして今、そのときの思いや教訓、経験を次の災害に備えて、防災・減災社会づくり、災害に強いまちづくりに取り組み始めています。その取り組みを進めるにあたり、大切にしているのが、三者（行政・社協・NPO等）連携です。私たちは、定期的に災害情報共有会議を実施し、三者の顔が見える関係、ネットワーク作りを進め、少しずつその体制が整いつつあることを実感しています。今後も、市民が中心となり、行政や社協と連携しながら災害に強く持続可能なまちを目指していきたいと思っております。今後とも、皆さまの温かいご支援とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。</p>

(活動のようす)

